

踏み出す一歩

2023年
5月19日
NO. 3

修学旅行を無事に終えました。

2泊3日の修学旅行に無事に行って参りました。大きく体調を崩す生徒が出ることもなく、天候にも恵まれ、楽しい3日間を過ごすことができました。

<1日目 5/9>



東海道新幹線からの富士山



USJでのクラス写真(1組)

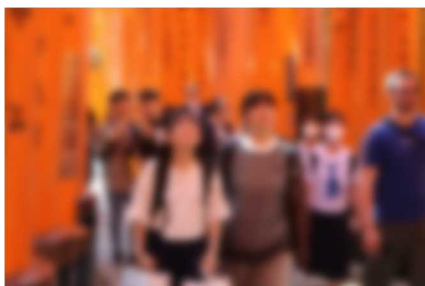


USJでのクラス写真(2組)

半日かけての大阪までの移動でした。新幹線の中では、座席の向きを変えたりしながら、おやつを食べたり、トランプをしたりとそれぞれが楽しそうに過ごしました。USJに入場する前に集合写真を撮り、早くUSJに入りたい！とテンションはマックスに。班員がそろって活動すること、パーク内で使用するミールクーポンを確実に使用すること、集合完了時刻は19:05であるということを再確認し入場しました。パーク内での生徒たちはカチューシャを付けたりしながら本当に楽しそうで、アトラクションやショッピング、食事を堪能しました。集合時間には全員が揃い、興奮冷めやらぬという雰囲気の中、宿泊場所のユースホステルに向かいました。

ユースホステルには、外国の方の一人旅や、個人で宿泊している方もいました。その方たちに迷惑を掛けることがないように、声の大きさに気を遣い、入浴時間を守り、2日目の活動に備えるようにしました。23:00消灯でしたが、すぐには眠れないという感じでした。

<2日目 5/10>



伏見稲荷神社にて



京都タワーをバックに



ヒルトン大阪でのビュッフェ

2日目の朝、ユースホステルで朝食を食べた後、全員で京都駅に向かいました。観光の名所「京都」なだけに、たくさんの観光客や修学旅行生、外国の方がいました。噂では、観光客が多すぎて、バスにも乗れないかもという話もあったので、計画通りにはいかないかもしれないけれど、臨機応変に対応するようにということ、班員決して分かれなことを再確認し自主研修に出発しました。各班、京都ならではの体験活動を行程に入れていたので、八ッ橋を作ったり、念珠体験や竹細工体験を行ったりと、記念になる活動ができました。自主研修終了後の集合時間・場所は、17:30ヒルトン大阪前でしたが、大阪駅構内がすごすぎて、ヒルトン大阪に、なかなかたどり着けないという場面がありました。

ヒルトン大阪でのビュッフェは、高級レストランということで、ローストビーフあり、牛しゃぶラーメンあり、ピザ、パスタ、お寿司あり、デザートにケーキ各種、アイスクリーム各種ありと、何から食べようかと大変迷いましたが、思い思いに食事を楽しみました。食後は、食べ過ぎてしまって大変な状況になっていた人もいました。

ユースホステルに帰ってから、実行委員会企画の学年レクを行いました。歌やダンスの出し物、クイズ大会と1時間の企画をみんなで楽しみました。実行委員たちの企画力が向上していて、大いに成長を感じられました。

<3日目 5/11>



平城宮朱雀門前にて



奈良公園で鹿とたわむれ



大仏殿をバックに学年で

3日目朝は、2日間の疲れがありながらも全員が元気にユースホステルに別れを告げ、一路奈良へ向かいました。平城宮いざない館で、1300年前の歴史に触れ、日本という国の成り立ちを学びました。また、勾玉づくりを体験し、自分の理想の形に近づけられるよう、一心不乱に磨いている姿が印象的でした。その後、奈良公園で食事を取り、鹿たちに鹿せんべいをあげたりしながら、仙台では見ることができない風景を楽しみました。また東大寺南大門の「金剛力士像」の迫力に圧倒され、大きな大きな大仏を目の当たりにし、神聖な気持ちになりました。

その後奈良を後にし、伊丹空港へ向かいました。初めて飛行機に乗るといふ生徒も多くいて、保安検査場で戸惑うこともありましたが、予定通りに飛行機に乗り込むことができました。離陸の際は、ジェットコースターに乗っているのかというような声が聞こえましたが、好みの番組を見たり、音楽を聴いたり、1時間余りの空の旅を楽しみました。ANAの機長さんからは吉成中生徒へ向けたメッセージが機内アナウンスされ、「下に琵琶湖が見えるよ」「猪苗代湖が見えるよ」と、修学旅行の最後の思い出になるような心遣いをいただきました。

仙台空港からは、アクセス線に乗って仙台駅へ向かいました。多くの保護者の方に、お出迎えいただきありがとうございました。おかげさまで、無事に3日間過ごすことができました。

<生徒のアンケートから感想発表>

今回の修学旅行では初めての近畿地方への旅行だったりと、わくわくがたくさんでした。USJや京都自主研修では特に自分たちだけの行動だったので、責任感や決断力を養えたかなと思います。大阪・京都・奈良、寺や建物の歴史についても知ることができて、とてもおもしろかったです。中学校でのこのような行事は最後ですが、とても良い思い出が作れて悔い無しです。楽しかった！！
2組 女子

修学旅行全体を振り返ってみると、とても素晴らしい良い修学旅行でした。ですが完璧にルールを全て守り、約束の時間を守れたわけではなく、この3学年全体の問題点も見えた修学旅行でした。先生がおっしゃったとおり、学年の仲がまた良くなったと私も考えています。悪い点もありましたが、最終的には誰一人欠けることなく、仙台に帰ってこられたので良かったです。
2組 男子

準備の時間はかかってしまったが、その分3日間を全力で楽しんだ。USJでは班長としての自覚を持ち、次はいつ来れるかわからないので悔いが残らないよう盛大に楽しめた。京都では伝統工芸である四波籠を作った。そして金閣寺に行き景色を存分に楽しみ、奈良や飛行機でも吉中生としての自覚を持ち行動できた。これからの楽しい記憶を思い出にしながら生活したいと思った。
1組 男子

自分自身のトラブルはなかったが、学年ではあったので自分の行動が学年全員に影響を与えようという自覚を持つ必要があったと感じました。全員で全力で楽しめたと思うので、「俺たち京大奈良」はしっかりできたと思います。時間に遅れたりしている人もいたので、きまり、ルール、時間を守る習慣を付ける必要もあると思います。
1組 女子